

令和 7 年度  
春季大会



期日： 令 和 7 年 4 月 5 日  
会場： アルテンジャパン武道館弓道場  
（堀原運動公園内）  
主催： 茨 城 県 弓 道 連 盟

# 令和7年度 春季大会実施要項

(種別分散開催版)

大会期日 令和7年4月5日(土)

大会場所 アルテンジャパン武道館弓道場(堀原運動公園内) (控室:剣道場)  
(※本年度から東日本技術研究所武道館から名称変更となります)

## 大会次第

- 1.開会式(行わない)
- 2.矢渡 (9時10分～)
- 3.競技 (9時45分～)
- 4.種別表彰式 開式の言葉／成績発表・表彰／講評／国旗拝礼／閉式の言葉

## 競技種別 個人

- (a) 有段者男子の部
- (b) 有段者女子の部
- (c) 称号受有者の部

## 競技方法 近的競技

- (a) 有段者は**6人立ち一手(坐射)1回**、3人立ち四つ矢(立射)1回、計6射とする。  
一手1回は審査採点を行い、6射3中以上を条件として射技優秀賞を決定する。
- (b) 称号受有者は3人立ち四つ矢(立射)1回とする。審査は行わない。
- (c) 総的中数により順位を決定する。的中同数の場合、優勝決定は射詰競射、順位決定は遠近法による。
- (d) 競技服装は、**四段以上受有者は和服を着用すること**。但し、肌脱ぎ、襷掛けをして入場すること。  
三段以下の者でも和服着用は可とする。**他の服装は弓道衣(筒袖、袴、白足袋)とする。**
- (e) 分散開催による競技時間短縮のため、有段者は6射3中、称号受有者は4射2中以上を表彰条件とし、該当者がいない場合は「該当者なし」とする。

参加資格 2025年3月15日時点での茨城県弓道連盟会員登録者。

適用規則 本要項に記載されない事項については、全日本弓道連盟「弓道競技規則」、ならびに茨城県弓道連盟「県内競技大会実施要項」による。

## 表 彰

- (a) 有段者男子の部 1～5位
- (b) 有段者女子の部 1～5位
- (c) 射技優秀賞 2名(前射場1名、後射場1名)
- (d) 称号受有者の部 1～5位
- (e) 奨励賞 最初の一手皆中者(称号者は対象外)

## 参加選手

合計251名(42支部)

	有段者男子	有段者女子	称号受有者
人数	89名	88名	74名

## 矢 渡

射 手	教士七段	大峰 芳樹
第一介添	教士七段	中嶋 鉄郎
第二介添	教士六段	大崎 真一

## 【大会役員】

名誉会長	柴田 猛(専従)	久保田 清(251)
相談役	橋本 真也(250)	
大会会長	中嶋 鉄郎(242)	
大会副会長	柴原 一利子(234)	大峰 芳樹(239)
総 務	後藤 裕一(241)	辻 尚宏(240)

## 【審査委員】

審査委員長		
担当射場	前射場(第1・2 射場)	後射場(第3・4射場)
審査委員	審査委員は大会当日公表	

## 【競技部役員】

競技委員長	小出 則行(229)		
総務委員長	石塚 美志(232)		
庶務接待委員	古田土 百合子(193)	市毛 文絵(168)	緑川 なおみ(150)
会計委員長	上馬 英子(184)	会計委員	福田 直子(156)
運行委員長	石塚 美志(232)	運行委員	廣木 栄則(209) 井坂 直貴(60)
施設部委員	新山 晃一(85)	飯沼 幸一(66)	
揮毫委員	柴山 純子(201)		
広報部長	門井 了(専従)		

## 【競技部運営委員】

進行(有段)	大崎 真一(231)	菊地俊和(214)	上馬 英子(184)	
進行(称号)	中野 公子(167)	稲垣 太郎(20)	宮崎 隆之(69)	
招集(有段)	小幡 貴司(180)	宮田 はるみ(192)	古山 道子(200)	
招集(称号)	野田 君江(177)	川村 淳子(126)	鈴木 茜(121)	
看的(有段)	松尾 一郎(181)	瀧口 真央(186)	門井 寿通(206)	渡邊 昌美(185)
看的(称号)	矢口 裕章(31)	鈴木 明美(120)	江橋 千穂子(144)	
	中根 将平(83)	新山 晃一(85)	飯沼 幸一(66)	
射場掲示(審査時)	柴山 純子(201)	古田土 百合子(193)		
記録(有段の中)	紫村 トク子(216)	門井 了(専従)	廣木 栄則(209)	
記録(有段採点)	廣瀬 仁美(専従)	木村 孝太郎(専従)		
記録(称号の中)	廣瀬 仁美(専従)	中村 陽子(162)	佐々木 京子(151)	木村 孝太郎(専従)

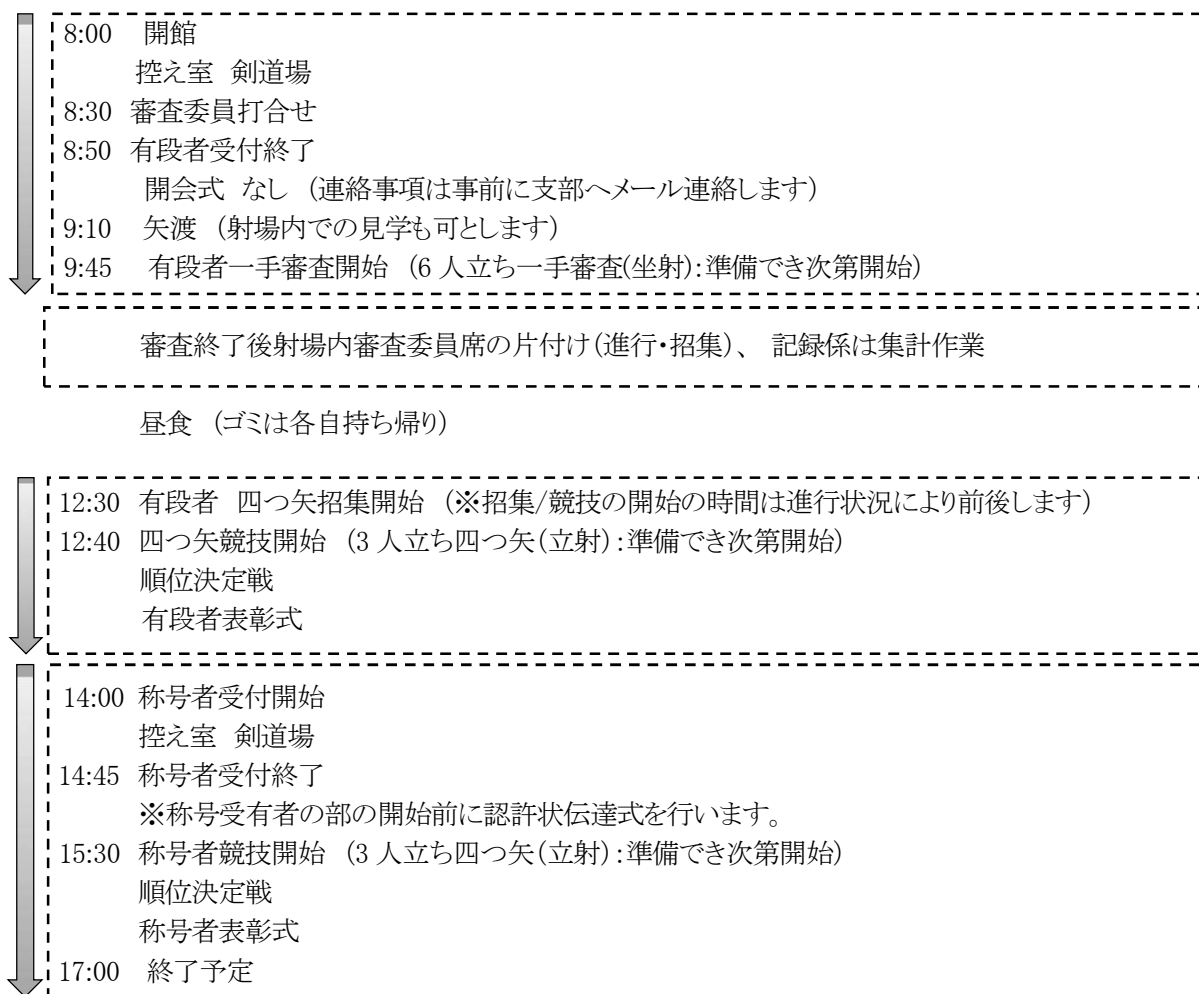
## 【競技運営地区】 水戸地区 / 女子会

競技地区運営係 責任者: 市毛 道子 / 柴原 一利子

進 行	江橋 宏美(専従) 高松 宏子(135)
招 集	なし
記 録	鈴木 裕美(208)
看 的	村上 美保(230) 濱野 悦子(198)

## 【大会運営方法について(分散開催版)】

(1) 下記のように分散して競技運営を行います。入館時間の制限は行いません。



(2) 開会式は実施せず、矢渡後に競技を開始します。表彰式は種別毎に行います。

(3) 閉会式は表彰される方以外の方も参列可能とします。

(4) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。

## 【間合いと射場について】

- ・有段者一手審査は坐射、四つ矢は有段者、称号者ともに立射とします。間合いは総て競技の間合いで実施します。  
ただし、有段者一手審査では、大前は落ちの弦音で立つこと。
- ・有段者一手審査時は6人立2射場とします。射場中央に審査員席がありますが、2射場12名とも射場最後方からの一斉入場とします。
- ・四つ矢(立射)の射場は有段者・称号者とも3人立4射場。4射場12名とも射場最後方からの一斉入場とします。

## 【替弓、替弦について】

替弦:坐射、立射ともに各自で持って入場して下さい。

替弓:所定の場所で招集係が預かります。退場口に返却所を設けますので退場時に持ち帰って下さい。替弓には各自で付箋に氏名と立番を記名して貼り付けて下さい。